



令和 6 年 4 月 24 日

岡山大学地球温暖化防止の取り組み PPA 事業契約による太陽光発電にて二酸化炭素排出量削減！

◆発表のポイント

- ・民間事業者が太陽光発電設備を無償で設置・メンテナンス等を行い、発電した電気を本学が購入する計画です。
- ・発電容量は約 3.2MW で、年間予想発電量は津島キャンパス電力使用量の約 17%に相当します。
- ・年間の CO2 排出削減量は約 1,800t で、津島キャンパスの排出量の約 16%に相当します。

本学は、世界的な地球温暖化対策に呼応して、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを戦略的に推進するため、2022 年 4 月にカーボンニュートラル戦略本部を設置しました。2022 年 9 月には「国立大学法人岡山大学における地球温暖化対策に関する実施基本計画」を改訂し、本学から排出する二酸化炭素排出量について、2013 年度を基準として 2030 年度までに 51%以上削減することを目標として定め、これを実現するための措置として再生可能エネルギーの最大限の活用に向けた取り組みを行うこととしています。

このことを踏まえ、2023 年度に津島・東山・平井キャンパスにおける太陽光発電設備の導入の可能性について調査を行い、太陽光発電設備の設置場所、周辺環境等の調査・検証を実施するとともに、発電シミュレーションおよびコスト試算を行いました。その調査結果等を基に、津島キャンパスにおいて、民間事業者が無償で太陽光発電設備の設置等を行い発電された電気を、本学が購入する PPA 事業[※]の実施を計画することとしました。

事業規模としては、発電設備の設置可能場所、電力の需給バランス及びコスト等を勘案し、約 3.2MW の発電容量とすることを想定しています。これは津島キャンパスの年間電力総使用量の約 17%に相当し、これにより、津島キャンパスの年間 CO2 排出量の約 16%に相当する約 1,800t の CO2 の排出量削減を見込んでいます。

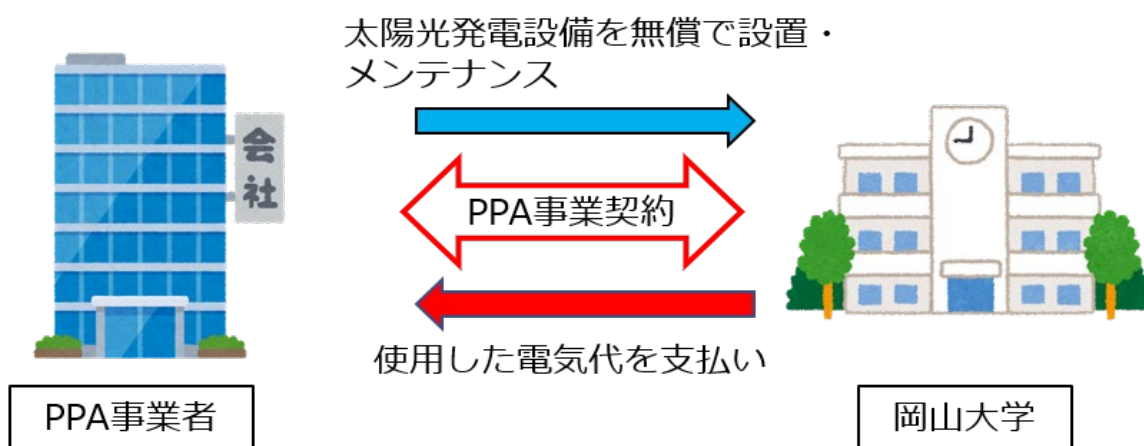
電力の供給開始は 2026 年 10 月を予定しています。

■補足・用語説明

※ PPA (Power Purchase Agreement) 事業：

PPA 事業者が建物等に太陽光発電設備を設置し、建物等の所有者が太陽光発電設備で発電した電気を PPA 事業者より購入する事業。建物等の所有者は太陽光発電設備を所有しないため、初期費用の負担や維持管理をすることなく、再生可能エネルギーの電気を使用することができる。

PPA事業スキーム



導入メリット

- 「温室効果ガスを排出しないクリーンエネルギーの活用」
- 「災害等停電時に自立運転により電源供給が可能」
- 「SDGs などの環境の推進に貢献できる」
- 「初期費用不要で太陽光発電システムを導入」
- 「事業者がメンテナンスするため管理が不要」

「津島キャンパス」PPA 事業の実施スケジュール（案）

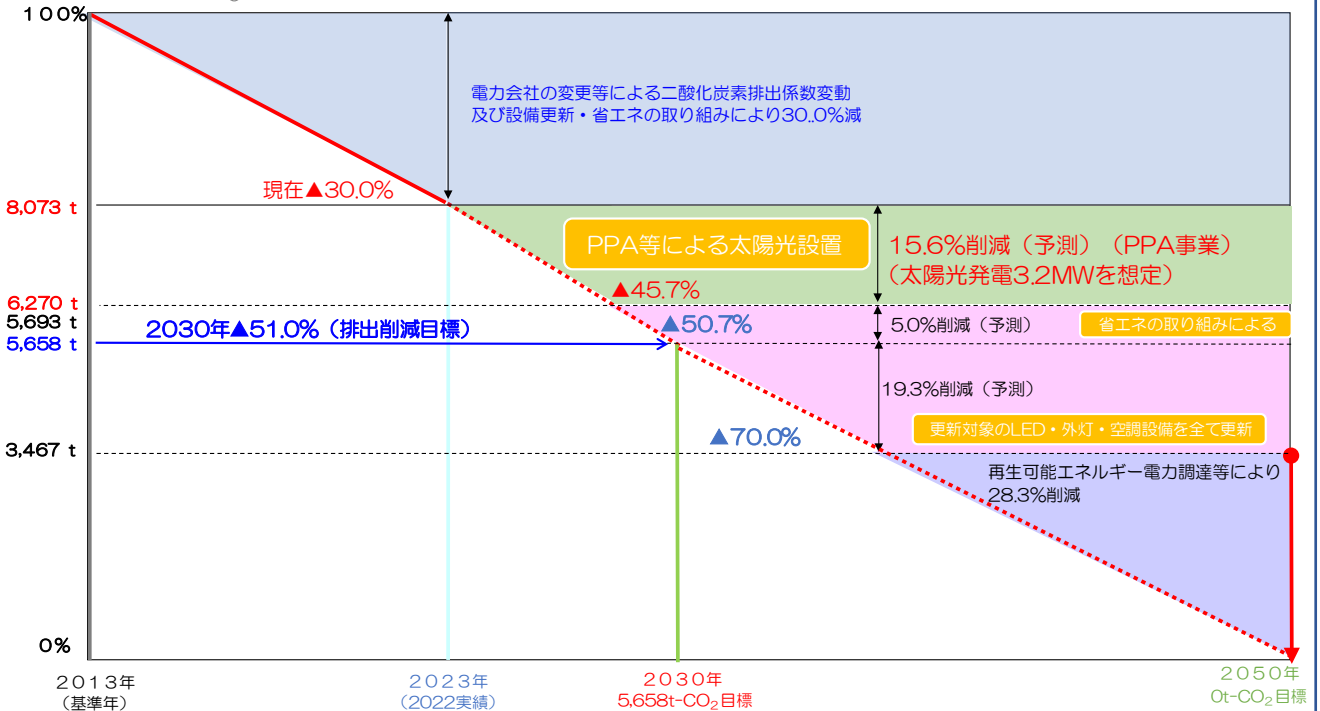
2024 年	
9 月	公募開始
12 月	企画競争による事業優先交渉権者の順位決定
2025 年	
4 月	業者と PPA 事業の契約締結、工事開始
2026 年	
9 月	太陽光発電設備の完成
10 月	津島キャンパスに電力供給開始



地域脱炭素ロードマップのイメージ (津島)

二酸化炭素排出量
11,547 t

2030年までに温室効果ガスを2013年度比**51%**以上削減、2050年度実質**ゼロ**



<お問い合わせ>

岡山大学施設企画部施設保全課

課長 和泉 宏紀

(電話番号) 086-251-7139

(FAX) 086-251-7147



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。